

2015 年度「活動報告」 No.3



甘草屋敷

11月8日（日）、多文化交流会「秋の塩山、文学散歩」を開催しました。小雨の中、26名の参加者は秋の風情を楽しみながら交流を深めました。

< 行程 >

- ① 甘草屋敷見学 → ② 岩波農園（吊るし柿作り見学） → ③ 参加者交流会（おやつは恵林寺名物のよもぎ団子） → ④ 恵林寺（座禅体験 30 分、お庭拝見）

次に、外国人参加者 3 名から寄せられた感想文を紹介します。

- (1) リサルさん（インドネシア）：来日 2 年、介護福祉士さんです。
- (2) ペレラ・ミラニさん（スリランカ）：来日 6 年、主婦をされています。
- (3) ケビンさん（台湾）：企業研修生として 3 ヶ月滞在、12 月末に帰国されました。



岩波農園



(1)

11月8日の多文化交流会

リサル・プルナマ

秋といえば紅葉がすごくきれいで、柿もたくさん実って美味しく食べられます。この時期、人々は家族や友達などと一緒に公園、お寺といった紅葉が見られるところへ遊びに行きます。散歩しながら回りの自然な景色を楽しむことができます。そこで、11月8日に多文化交流会で他の外国人（カナダ人、アメリカ人、台湾人、ベトナム人、山梨日本語ボランティアの先生方と一緒に塩山に行きました。参加したのは全員で26人です。

初めに、私達は江戸時代後期に建築された民家という”**甘草屋敷**”へ見学に行きました。甘草屋敷内に展示された美しい吊るし雛があり、秋にはきれいに吊るされた干し柿も見られます。それだけではなく、様々な価値がある古い物もたくさん展示されています。次に”**岩波農園**”へ吊るし柿作りを見に行きました。そこで、私は実際に柿の皮を剥いたり、甘くて美味しい乾いた吊るし柿を食べたりしました。

最後に”**恵林寺**”へ行きました。恵林寺は武田信玄の菩提寺として知られています。周りに古い建物があり、自然の景色も、きれいな紅葉も見られました。恵林寺を拝観している時、廊下を歩くと鐘の音がしてびっくりしました。なぜ鐘の音がするのか本当に気になりました。誰かに尋ねたら、それは鶯張りと呼ばれているそうです。その後、座禅体験をしました。座禅とは仏教で姿勢を正して座った状態だということです。英語にすると”**MEDITATION**”といいます。座って身体と呼吸と心を調え落ち着かせてくると、心も軽く安らくなるそうです。しかし、これを実際にやったら、どうしてもうまくできませんでした。姿勢がだんだん悪くなってしまい、なかなか集中できないのです。私のような普通の人には座禅をすることは難しく無理だと思います。それが終わってから、私達は先生方に塩山駅まで送って頂いて、それぞれの家へ帰りました。

他の外国人と山梨日本語ボランティアの先生方と一緒に秋の塩山、文化散歩をし、感激しました。それに、忘れられない思い出の一つになりました。又、このような次の交流会を楽しみにしています。

Pertemuan Pertukaran Kebudayaan 8 November

Risal Purnama

Ketika mendengar musim gugur, keindahan daun-daun yang sudah berwarna merah, dan panennya buah kesemek, dapat dinikmati di musim ini. Orang-orang biasanya bersama keluarga tercinta, dan sahabat akan pergi ke taman-taman agar bisa menikmati keindahan pemandangan di musim gugur. Terlepas dari hal itu, pada tanggal 8 November saya, para sukarelawan guru bahasa Jepang, serta orang-orang asing lainnya pergi bersama ke 3 tempat yang ada di daerah Enzang.

Pertama –tama, kita pergi ke tempat yang dimana pada zaman Edo telah didirikan bangunan rumah tua pribadi. Bangunan rumah ini bernama “**Kanzouyashiki**”. Di dalamnya terpajang barang-barang kuno yang masih bernilai. Kemudian ada boneka-boneka kecil tapi cantik yang digantung secara rapi dan menarik. Boneka-boneka itu disebut dengan ‘*tsurushi hina*’. Selain itu juga banyak buah kesemek yang digantung secara rapi. Setelah itu, kita berlanjut pergi ke tempat pembuatan buah kesemek yang dijadikan manisan, yang ada di daerah “**Iwanaminouen**”. Disana saya, secara langsung mengupas kulitnya, dan memakan langsung buah kesemek yang sudah menjadi manisan. Rasanya sangat manis dan enak.

Terakhir kita pergi mengunjungi tempat yang dikenal sebagai kuil keluarga kesatria *Takeda Shingen*, yang bernama “**Erinji**”. Disekeliling tempat ini, kita bisa melihat kuil-kuil tua, pemandangan alam yang alami, dan daun-daun yang telah berwarna merah. Kita pun semua masuk ke dalam, dan ketika saya melewati suatu lorong, terdengar suara seperti bunyi lonceng. Saya begitu terkejut, sampai penasaran kenapa bisa berbunyi seperti itu. Ketika saya bertanya ke salah seorang tentang bunyi yang tadi, itu katanya disebut dengan “*uguisu-bari*”. Setelah itu, kita mencoba melakukan ritual simedi atau meditasi, yang biasa dilakukan oleh orang yang beragama Buddha. Badan dan hati dalam keadaan tenang, aliran napas pun harus terjaga dengan selaras. Katanya apabila bisa melakukannya dengan lancar, semua beban hidup yang dirasakan akan tenang, dan hilang. Akan tetapi ketika saya melakukannya, sama sekali tidak berjalan dengan lancar, karena semakin kesini postur duduk menjadi memburuk dan tidak bisa lagi berkonsentrasi. Saya pikir orang lain pun pada umumnya tidak akan bisa secara sempurna karena susah. Setelah acara semuanya selesai kita diantarkan oleh guru-guru bahasa Jepang sampai stasiun kereta dan pulang ke rumah masing-masing.

Saya begitu terkesan setelah menikmati kebudayaan Enzang di musim gugur bersama para guru bahasa Jepang dan orang asing lainnya, sehingga menjadi satu kenangan yang tak akan terlupakan. Maka dari itu saya menunggu dengan senang hati pada kesempatan berikutnya dalam acara pertukaran kebudayaan yang lainnya.

(2)

秋の塩山、文化散歩に参加して

山梨日本語ボランティアの会 2015 年の活動に参加した、スリランカ出身のミラニです。以前から日本の伝統と美しさに興味があった私にとって、今回のイベントはとても有意義なものでした。イベントには、インドネシアやアメリカなど、さまざまな国の生徒たちが参加しました。

まずは塩山にある旧高野家住宅に行き、日本の歴史について学びました。およそ 240 年の歴史をもつ古い屋敷は、今も、そして未来の子供たちにとっても、尊い宝物であると感じました。

次に吊るし柿を見学しました。私も皆と一緒に柿をむくことができ、とてもうれしかったです。

最後に恵林寺に行きました。そこで、先生たちからサプライズでお菓子をいただきました。寒くなり始めた時期に雨の中を歩き回ったので、とてもうれしかったです。お店の中でお菓子とお茶をいただきながら、私たちは一人一人自己紹介をしました。さまざまな国の友達ができたのでとてもうれしく、温かな時間を過ごすことができました。

恵林寺の景色のすばらしさに驚きました。美しい景色に心を動かされました。恵林寺は 1330 年に夢窓国師によって開かれ、戦国武将の武田信玄が菩提寺と定めた臨済宗妙心寺派の古刹だということなど、大切なことをたくさん学ぶことができました。また、見学の後に座禅体験も行い、心を落ち着かせることができました。本当にすてきな一日でした。

私たちのためにすばらしい一日を用意してくれた先生たちに、心から感謝しています。



恵林寺



සරත් සමයේ එන්සාන්, සංස්කෘතික සක්මනකට සහභාගී වෙමින්

2015 වසරේ යමනඹි ජපන් භාෂා ස්වේච්චා සංගමය වැඩිමුලුව සඳහා සහභාගී වූ මම ගී ලංකාවේ සිට පැමිණි මිලානි. පෙර සිට ජපන් සංස්කෘතියේ අලංකාර බව පිළිබඳව කැමැත්තක් තිබුණු මට මෙවර වැඩසටහන බෙහෙවින් පරයෝජනවත් විය. වැඩසටහන සඳහා ඉන්දුනීසියාව ඇමරිකාව වැනි රටවල් හරහා සිසු සිසුවියන් සහභාගී විය. පළමුවෙන්ම එන්සාන් හි ඉපැරණි තකනොනිවසට ගිය අතර එහිදී ජපාන ඉතිහාසය පිළිබඳව දැණුම ලබා ගත්තෙමු. වසර 240ක් තරම් ඉපැරණි එම නවස වර්තමාන එමෙන්ම අනාගත පරපුර උදෙසාද ඉමහත් නිධානයක් වනු ඇත.

ඊට පසු එල්ලන ලද කකි නැරඹීමට ගියෙමු. එහිදී මටද අනෙක් ළමුන් සමග කකි ලෙලි ගැසීමට ලැඹීම මහත් සතුටක් ගෙන දෙන්නක් විය. අවසාන වශයෙන් ඒර්න්ජි නම් වූ පන්සලට ගිය අතර මෙහිදී ගුරුවරුන් විසින් තෝපැන් සංගේරනයකින් පුදුම කරවනු ලැබීය. ගීන කාලය උදා වීමත් සමග අදහැලුණු වර්ෂාවෝ අවිද ගිය අපට තෝපැන් සංගේරනය මහත් ආශීර්වාදයක් විය. තෝපැන් සංගේරනය බුක්ති විදින අතර තුර ඒක් ඒක් අය දැන හදුනා ගනු ලැබුවෙමු. විවිධ රටවල ළමුන් සමග රැදී සිටි අතර ඉතා ජීවත්මත් සහ උණුසුම් හමුවක් විය.

ඒර්න්ජි පන්සල දැකීමත් සමග මම මහත් විමනියට පත් වීමි . මන්ද ඉතාමත් දැකුම්කළු මනස්කාන්ත වට පිටාවකින් හෙබි මෙම පන්සල 1330 වසරේ සිට යුද්ධය හා බැඳුණු දීර්ඝ ඉතිහාසයකට හිමිකම් කියනු ලබයි. පන්සල අවට නැරඹීමෙන් පසු භාවනාමය වැඩසටහනකින් පසු සංසුන් වූ මනසකින් යුතුව සියල්ල සතුටින් විසිර ගියහ.

අවසාන වශයෙන් මෙවැනි වූ ඉතාමත් වටිනා සැන්දැසාමයක් උදාකර දීම පිළිබඳව මෙම වැඩසටහන සංවිධානය කරන ලද සියළුම ගුරුවරුන්ට හදවතින්ම ස්තූතිවන්ත වෙමු.



(3)

塩山での交流会に参加して

潘為民 (ケビン)

私は、十月から三ヶ月の予定で、会社の研修のために日本に来ています。平日は、一生懸命会社で働いているので、休みの日は疲れて外に出る気になりません。いつも会社の寮でテレビを見たり、自分で料理を作ったり、インターネットで無料の映画を見たりしています。そうしている時は、研修の生活の中でも一番幸せに感じます。しかし、ずっと一人で過ごしていると、ちょっと寂しく感じます。そのようなとき、毎週一回の日本語レッスンで、高尾先生から、山梨日本語ボランティアの会が主催する「秋の塩山、文化散歩」というイベントがあるので参加しませんか、と誘われました。私はこの週末に参加することに決めました。

当日は、ほぼ二十五人が参加し、全員塩山駅に集まりました。メンバーは、ボランティアの会のスタッフ約十人の他、いろいろな国から参加者が集まっていました。最初に、お互いに簡単な自己紹介をしました。そして、塩山駅の近くにある甘草屋敷に行き、前の広場で全員の記念写真を撮りました。雨が降っていましたが、皆楽しみにしている様子でした。その後、甘草屋敷でいろいろな薬草を作るための道具を見ましたが、道具が予想以上に種類が多いなどが面白かったです。

次に岩波農園へ行き、干し柿の作り方を見学しました。まず、柿の皮を剥き、沸騰した鍋に柿を五秒間入れて引き上げます。カビが生えにくくなったのです。それから、軒下の日当たりと風通しのよいところに干します。

最後に恵林寺に行って、座禅を体験しました。その座禅体験が、今回一番印象に残りました。座るのは三十分だけなので大丈夫だと思っていましたが、十五分位過ぎると足が痺れて、どんどん痛くなってきました。座禅が終わったとき、全く立ち上がれませんでした。私はだけではなく、皆もそのようになったそうです。

今回のイベントでは、いろいろなことを勉強して、他の国の人たちとも知り合って、本当に楽しかったです。そして、このことは、私が日本にいる間に体験したことの中でも最もいい思い出になると思います。



(写真：小林 / 高石 / 土橋)